

## 第6回 下松市地域公共交通活性化協議会

### 議事要旨

○日時：平成30年3月7日（火）13:30～14:10

○場所：ほしらんどくだまつ サルビアホールB

○出席委員：18名（欠席3名）

玉井委員長、寶迫委員、河内委員、弘委員、田中委員、六反委員、網本委員、吉岡委員、古田（尊）委員、宗像委員、石隅氏（手嶋委員代理）、大下委員、西村委員、古本委員、永田委員、古田（健）委員、安野委員、金織委員  
※欠席（杉村委員、清水委員、京牟礼委員）

○事務局：企画財政課、株式会社バイタルリード（オブザーバー）

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 下松市地域公共交通網形成計画に関する平成30年度の事業予定について

事務局より、以下について説明した。（特に③、④について重点的に説明した。）

①バス停留所の待合環境整備方針の検討

②公共交通マップの作成

③運賃負担軽減実験の実施（笠戸島地区）

④市町村有償運送の試験運行の実施（米川地区）

※プロポーザルによる業者選定を実施中である旨を含む。

⑤市街地循環線の導入に向けた検討

⑥バスロケーションシステムの導入について

#### ○質疑応答

##### 【会長】

平成30年度は、下松駅のエレベーターが完成するのでお伝えする。

##### 【会長】

笠戸、米川での実証実験の結果、本格導入に移るか否かの判断はどのように行う予定か。

##### 【事務局】

アンケートや利用者数等、生の実験結果を協議会にお示し、協議会で今後の方針について協議していただきたい。

##### 【委員】

米川の実証実験について、運賃無料とのことだが、市の予算はどのくらいを想定しているのか。

##### 【事務局】

約250万円を想定している。また、仮に本運行となった場合は運賃を徴収する予定である。

**【委員】**

公共交通マップについて、具体的な作成時期は決まっているか。

**【事務局】**

未定である。今後、周南市との調整を進める。

**【委員】**

米川地区の実証実験について、花岡地区内のみでの乗降は不可とのことであったが、具体的な境はどこか。

**【事務局】**

「米川方面行き」では、華陵高校前バス停以前は乗車のみ、「花岡方面行き」では華陵高校以降は降車のみと考えている。

**【委員】**

米川地区の実証実験に係る路線図について、定時定路線以外の部分の乗降ポイントが表記されていないがどうか。

**【事務局】**

定時定路線以外の部分はデマンドとなる。

今後、地元の集会所等で実施する説明会（地域づくり団体に対しては説明会実施済）においては、デマンド部分は自由乗降区間である旨及び予約方法等を記載する形としたい。

**【委員】**

米川地区の実証実験について、花岡地区での乗降制限があるとのことであったが、米川地区で乗車して米川地区で降車することはできるのか。

**【事務局】**

可能である。

**(2) その他**

事務局からの提案はなし。

**○質疑応答（公共交通全般）**

**【委員】**

郊外だけでなく、公共交通利用者の多い路線の利用者の意見も取り入れて欲しい。

**【事務局】**

そのように努めたい。

**3 その他**

事務局から、平成30年度以降の委員の推薦・就任について依頼した。（平成30年3月末で全委員が任期満了となる。）